

**東南アジアにおける人材育成支援事業  
(インドにおける省エネルギー技術基礎講座)の講師募集について**

このたび、国際協力委員会の平成25年度事業である東南アジアにおける人材育成支援事業(インドにおける省エネルギー技術基礎講座)を、Vasudha Foundationと連携し実施することになりました。

つきましては、下記条件にて本講座の講師を募集しますので、平成25年6月14日(金)までに、国際部まで応募くださいますようお願い申し上げます。

記

1. 実施予定日 平成25年9月19日(木)及び20日(金)

2. 講座名 インドにおける省エネルギー技術基礎講座

3. 講師要件

- ・募集講師 2名
- ・講座時間 1日目6時間、2日目4時間の計2日間で実施
- ・言語 日本語→英語(通訳付)
- ・教材 講師が作成する教材(英語)

4. 講師費用

当協会より、下記の費用をお支払いします。

- ・講師渡航費 日本とインド間の往復航空券(PEXクラス)を当協会の手配
- ・講師日当 @5,000円×4日(講義2日、往復2日)
- ・講師料 @50,000円/日
- ・講師宿泊費 当協会の手配
- ・現地交通費 実費支給(会場往復交通費等)

## 5. 提出書類

講師略歴書（書式自由／和文と英文）と、別紙カリキュラム（案）に基づいた教材（案）概要（和文と英文）を作成のうえ、電子ファイルにて、下記8. の提出先にご送付ください。その際、送付者の連絡先のご記入もお願いします。

講師略歴書においては、海外研修生を対象とした英語での研修実績がありましたらそれ  
もご記入ください。

なお、ご提出いただいた書類については、個人情報保護の観点から、本事業の実施のみに使用し、本人の許可無く他の目的で使用すること、及び第三者に開示することはいたしません。

6. 応募締切：平成25年6月14日（金）厳守

## 7. 審査方法：

当協会内で、講師の経験等に基づき審査を行い、6月21日（金）までに結果をお知らせいたします。

## 8. お問合せ・提出先：

〒100-0004 東京都千代田区大手町1-1-3 大手センタービル5階

一般社団法人 電子情報技術産業協会

国際部 鈴木 尋士

e-mail: hi-suzuki@jeita.or.jp

Tel: 03-5218-1060 Fax: 03-5218-1079

以 上

別紙

省エネルギー技術基礎講座実施要領

1. 事業名

東南アジアにおける人材育成支援事業  
(インドにおける省エネルギー技術基礎講座開設)

2. 主催、共催

主催： 一般社団法人 電子情報技術産業協会 (J E I T A)  
共催： Vasudha Foundation  
省エネ、再生エネルギー関連を推進する現地団体

3. 目的

本支援事業の目的は、インドの有能且つ意欲的な若手エレクトロニクス技術者を対象とした省エネ及び再生エネルギー活用に関する基礎教育を実施することにより、実践的な技術能力を習得させるとともに、最良且つ具体的な省エネ施策を見出し発見する能力を高め、将来の電気電子産業全体の技術レベルの底上げに必要な人材を育成することにある。

本事業は、Vasudha Foundation と連携して実施する。

4. 実施内容

- (1) 実施予定日 平成25年9月19日(木)及び20日(金)
- (2) 講座時間 1日目6時間、2日目4時間の計2日間で実施
- (3) 受講者数 約40名(20社)  
現地の日系企業も含む、インド中央政府電力省傘下BEE(エネルギー効率局)局員、及びVASUDHA Foundation傘下の電気電子関係企業の実務経験5年程度の現地技術者
- (4) 現地連携機関 Vasudha Foundation

5. 会場 インド デリー市内 India International Center

6. 使用言語            日本語→英語（通訳付き）  
                              （教材は英語）

## 7. 講座内容

本講座では、講師 2 名を派遣し、省エネルギー技術の概要に加え基礎的な省エネルギー知識及び技術の習得に必要な下記の研修科目を学習させる。

（カリキュラム案）

1 日目

1) 省エネルギーの背景

- ・ 世界のエネルギー消費と価格
- ・ 国際基準の動向

2) 省エネルギーの考え方

- ・ エネルギーの分類
- ・ エネルギーの最適化の考え方
- ・ 省エネルギーの進め方

3) 電気設備の省エネルギー手法

- ・ エネルギー管理

流量、温湿度、電力等をはかる電子デバイスを応用して工場の各種エネルギーを計測し、管理システム（通信ネットワークと情報処理機器）による省エネ活動の見える化を紹介

- ・ モーター、ファンの省エネ

産業用半導体を応用したインバータを使った省エネを説明

- ・ コンプレッサーの省エネなど

電子制御機器（PLC 等）とインバータを使った省エネを説明

4) 熱の省エネルギー手法

- ・ ボイラー（蒸気）設備の省エネ

熱の回収などによる燃料の省エネを説明

- ・ ヒートポンプ（熱回収）による省エネなど

熱交換器（熱材料）による燃料の省エネを説明

- ・ 空調設備の省エネなど

制御機器（温度センサーとコントローラ）を使った省エネを説明

2 日目

- 1) 省エネルギーの将来動向
  - ・ エネルギーマネジメントシステムの運用
  - ・ 再生可能エネルギーの活用
- 2) 再生エネルギーの活用事例

以上